

令和4年度第10回 稲武地域まちづくり推進協議会 議事録

日 時	令和5年1月24日（火曜）午後6時00分～7時30分
会 場	稲武支所2階 団体会議室

1 あいさつ

○大内会長

今季最強の寒波が来ており、大雪注意報や低温注意報が出ている。降雪が心配な時期である。本日は横田委員の提案もあり、ファーストキャリアさんとの意見交換がある。本日もよろしくお願いします。

2 「ファーストキャリア」さんからの稲武地区に関する提案について

横田委員；

- ・「ファーストキャリア」さんは、オープンイナブと連携して事業を行っている。メンバーは企業に勤めている方もいて、企業研修という形で参加している。提案内容は、もし各メンバーが横田委員の代わりに事業に取り組むなら、という視点で企画を検討してきた。
- ・企画内容はよくできたものと思うが、オープンイナブへのヒアリングや独自調査などで作っているため、リアルな声が反映されていない部分がある。この辺りについて意見をもらえればと思う。今後、より良いものができればと思う。

<発表概要> 田畑氏

- ・稲武の良さとして、「人とのつながりを大切にすること」があると思う。今、「関係人口」という言葉があるが、また稲武に来たいと思ってもらえる仕掛けができないか。
- ・今回の提案として、「師匠と弟子」というコンセプトのプログラムを提案したい。具体的な内容はもっと詰めなければいけないが、師匠のイメージとして、マウンテンバイクのガイド、家具職人、ゴルフが上手な人、稲武のカメラ好き、創業70年以上の企業経営者、郷土料理などの料理上手なお母さまたち、バードウォッチングの指導者などが挙げられる。これらの「弟子」にあたる人を都市部などから募集して、他人以上家族未満の関係性の構築を増やしていこうとするものである。
- ・今後も企画の検討を進めていきたいため、2月の協議会でも再度提案したい。

<質疑応答>

古橋真人委員；確認であるが、提案にある「師匠」は稲武の人で、「弟子」は企業で働いている人という認識でよいか？

→田畑；その通りである。「弟子」は企業研修で参加する人や一般的な個人を想定している。

古橋真人委員；企業側のニーズはどうか？どんなものが稲武にあるとよいか？

→田畑；具体的な要望はこれから聞いていくところであるが、ワーケーションの取組は引き続き拡大しているし、フィールド研修のニーズは間違いなく増えている。企業においては、例えば、都市部と地域、事業者と地域などの視点での越境学習にニーズがある。

古橋真人委員；例えば、林業の体験に宿泊がプラスされれば、地域に落ちるお金が増えることになるのでそういう視点は大事であると思う。また、参加した人の個人情報クラウドに登録され、次のイベントの案内が自動的にいくようなシステムができるとよいなと感じた。

山田副会長；正直なところ、発表内容がちょっと難しく、なかなか理解しづらいものであった。個人的には、人形浄瑠璃を若い人にやってもらって、将来稲武に住んでもらえればと思う。

→田畑；地域の課題解決にぜひ協力していきたい。事業に必要ななら、私たちから対価をお示しする必要もあると考えている。

鈴木委員；稲武には、これまでも着地型観光として体験プログラムを実施してきたが、今回の提案はどこに新鮮味があって、稲武にとって取り組むべき良い理由は何だろうか？また、事業を展開するにあたり、全体をコーディネートする人やコーディネートの調整がそちらでできないか？

→田畑；差別化についてはこれからの検討事項であるが、「人とのつながりの良さ」が稲武の良さであると認識している。単純に、プログラムを教える人と参加者で終わらせないようにする必要がある。プログラム参加者に「また、あの人に会いに行きたい」と言いたくなるような取組にしていきたい。

大内会長；私は、この協議会の会長であるが、同時に、いなぶ観光協会の会長をやっている。稲武には体験型観光の拠点であるどんぐり工房があるし、この場にも企業の社長が何人かいる。また、皆さんが参加できるイベントも色々やっている。とにかく、この地域は人材不足という問題が大きい。若い人が働くところはあるが、うまくマッチングしない現状がある。ぜひ皆さんに稲武に来てもらって、委員の本音を聞いてほしい。

杉山委員；今日の提案を受けるにあたり、費用がかかっているのか？

→横田委員；企業研修の一環で行われているので、むしろお金をもらっている。

結論；2月の協議会でも、引き続き提案を受ける。

3 協議事項について

(1) 各団体からの現在の取組、課題などの発表について

①雇用創出検討委員会

松井弘光委員；

- ・委員会が立ち上がって、10年近く経過している。元々は、稲武のまちなかの空き家、空き店舗を活用できないかの検討をしていた。
- ・令和3年度からは、商工会館でのワーケーションの実証実験を始めている。地域の課題解決に関する検討には、トヨタ自動車さんに入ってもらっている。実証実験は令和5年度までになっており、今後の活用についてはまた検討していく。
- ・2月3日（金曜）には、オープンデーを企画している。

三江副会長；

- ・これまで何回かオープンデーを実施しているが、オープンデーへの参加者は稲武に関わりたいという思いがある人だと感じる。地域側は固定メンバーになってしまっているのが、新たな人が参加してくれるとよいと思う。
- ・稲武は再エネの先進地だということを子どもたちに知ってもらい、興味を持つことができるようにトヨタ自動車さんが工夫して企画をしてくれている。先日は、自転車をこいで発電した電気でクリスマスツリーの点灯式などを実施した。子どもたちはとても楽しそうにしていた。稲武の子どもたちは人数が少ないことで、できるスポーツの種類が限られることもあり、子どもたちの将来の可能性を広げる取組をできるようにしていきたい。

次回は、生活交通利用促進委員会が発表する。

4 各種話題提供について

(1) ワーキング部会、各委員からの報告

佐藤委員；元嘱託社員による着服事件が発生したことについて、改めてお詫びしたい。信頼回復を第一に出直していきたい。引き続きよろしく願います。

大内会長；2月4日（土曜）に、雪み街道を開催する。2月3日（金曜）に準備

をするので、可能な方は参加をお願いしたい。汁ー1 グランプリはまちなかで行う。今のところ7店舗が出店する予定となっている。ぜひご家族でお越しください。

三江副会長；鈴木委員からの提案資料については、取扱いを正副会長で1度協議し、次回以降の協議会に諮っていききたい。

山田副会長；今回の知事選の投票済証に、氷瀑の写真が使用されているので紹介したい。

杉山委員；稲武支所での期日前投票は1月29日（日曜）からになるので、ご承知ください。

中村委員；12月16日（日曜）に「福祉の教室」を開催した。当日は30歳代～60歳代の19名の参加があった。そのうち、2名がヘルパーの初任者研修を受けることになった。

5 次回開催日

令和5年2月21日（火曜）**午後6時～** at 旧商工会館